

「防災特別授業を受けて」

一年二組 三井 俊吾

「ほくは、早大防災教育支援会やWASEN

の「和の心を送り、防災の輪を広げ、常に防災

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

意識の鮮度を保つ」という目標を持つ、という

と同じ思いをしていさのだから日本はイニ
ネミアの地しんたりさしをもつと伝えるべき
だとぼくは思いました。

又マニカさんの地しん体験談を聞いた。ぼ
くは地しんにはあつていさかまだの才の十
一ヶ月だつたので地しんのはまつたしお
ぼえていません。だから天災のことはよく分
かりなりのでよく聞けたと思つた。又マニカさ
人は津波によつて二人の家族を失つた。家
族を失つたことはすごく悲しいことだと思ひ

ます。でもそれをくやまずに医者になりに
新しく事を考えられたのかと思つた。だが
ら又マニカさんには、医者になつてほしい。
今回の授業でぼくは、いろいろなことを知
りたりたりなことを感じました。ありがとう
ございました。